

東海市データヘルス計画の取組状況について

1 特定健康診査事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|---------------------|---------|---------------------|--------|
| 特定健診受診率 | 50.90% | 51.30% (↗) | 52.80% |
| 40代男性の特定健診受診率 | 19.70% | 23.59% (↗) | 22.30% |
| メタボリックシンドローム該当者の減少率 | 23.80% | 18.30% (↘) | 24.00% |

特定健診受診率及び40代男性の受診率は、計画策定時より上昇しており、健診の実施方法や体制、受診勧奨の効果が出ていると考える。しかし、メタボリックシンドロームに該当する人の割合は増加しており、健診受診で把握した結果を生活習慣病の発症や重症化予防行動につながるよう対象者に還元していく。

2 特定健診未受診者対策事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|---------------------------|---------|---------------------|--------|
| 受診勧奨後の受診率 (2月追加実施の受診率) | 11.20% | 5.68% (↘) | 12.00% |
| 過去5年間で一度も健診受診していない者の割合 | 34.49% | 36.20% (↘) | 33.00% |

例年1月に、2月の追加実施に向けて健診未受診者へ勧奨通知を行っているが、2月の受診率は低く、健診未受診者の行動変容への効果は少ないと思われる。また過去5年間健診を受けていない人は増加傾向にあるため、さらに効果的な受診勧奨方法を検討する必要がある。次年度は9月と1月の2回受診勧奨を実施し、受診率向上を目指す。

3 フレッシュ健康診査事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|--------------------------|---------|---------------------|--------|
| フレッシュ健診受診率 | 14.80% | 16.32% (↗) | 18.00% |
| フレッシュ保健指導実施率 | 30.00% | 37.78% (↗) | 33.00% |
| 生活習慣改善意欲がある人の割合 (40歳代以下) | 80.50% | 75.18% (↘) | 83.00% |

フレッシュ健診の受診率と保健指導実施率は増加傾向にあり、保健指導実施率は中間目標値を上回った。しかし、生活習慣改善意欲がある人の割合は減少しているため、ポピュレーションアプローチとして、若い世代への生活習慣病の発症や重症化予防についての啓発活動に取り組むことについても検討していく。

4 糖尿病性腎症重症化予防事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|------------------------------------|---------|---------------------|--------|
| 人工透析新規導入者数 (被保険者1万人当たり) | 6.06人 | 2.53人 (↗) | 4.50人 |
| 保健指導プログラム参加者の翌年度の腎期の維持・改善率及び改善者の割合 | 37.50% | 52.94% (↗) | 40.00% |
| 特定健診受診者のうちHbA1c8.0%以上の者の割合 | 1.80% | 1.71% (↗) | 1.50% |

糖尿病性腎症にかかる治療薬の成果もあり人工透析新規導入者数は減少傾向にある。また、保健指導プログラム参加者の翌年度の腎期の維持・改善率および改善者の割合や特定健診受診者のうちHbA1c8.0%以上の者の割合はいずれも中間目標値を超えており、事業の効果があると思われる。今後もポピュレーションアプローチとしての講演会と、対象者への保健指導プログラムの実施を継続していく。

5 各種がん検診事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|----------------------------|---------|---------------------|--------|
| 五大がん検診受診率 (胃・肺・大腸・乳・子宮) | 9.82% | 9.40% (↘) | 12.50% |
| 五大がん精密検査受診率 | 78.46% | 71.65% (↘) | 80.00% |

がん検診受診率、精密検査受診率ともに計画策定時よりも減少している。令和8年度より乳がん検診の対象者が変更になることを広く周知するために、ホームページのリニューアル等を検討しているため、乳がん以外の検診についても効果的な啓発方法を考えていく。また精密検査受診率は、未把握率が高いことも影響していると思われるため、精検未受診者へ電話での受診勧奨及び受診後の結果報告ともに促していく。

6 歯科検診事業

| 20歳 | 25歳 | 30歳 | 35歳 | 40歳 | 45歳 | 50歳 | 55歳 | 60歳 | 65歳 | 70歳 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 6.4 | 5.0 | 7.6 | 8.5 | 9.3 | 9.4 | 8.7 | 12.4 | 13.0 | 14.5 | 15.7 |

(令和6年度歯周病検診・フレッシュ歯周病検診受診率(％))

20歳から35歳の若年層の受診率が低い。若年層だけでなく、幼少期からお口に関心を持ってもらうことが重要であることから、学校などの健康教育の場での歯科健康教育内容の充実及び啓発活動を行っていく。また歯周病検診の早期受診の勧奨に加え、通いの場等でのお口の体操を引き続き実施し、口腔機能の維持・向上を目指していく。

7 ジェネリック医薬品差額通知事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|--------------|---------|---------------------|--------|
| 後発医薬品使用率（数量） | 85.79% | 90.11% (↗) | 88.00% |
| 後発医薬品使用率（金額） | 68.11% | 79.80% (↗) | 75.00% |

令和6年10月に始まった選定療養制度の効果もあり、後発医薬品使用率が数量・金額ベースともに大きく上昇し、すでに中間目標を達成した。今後も、医療費適正化のため、周知に努めていきたい。

8 普及啓発事業

| | 計画策定時実績 | R6 実績 (改善・達成の状況) | 中間目標 |
|-------------------|---------|---------------------|--------|
| ウォーキングイベント参加人数 | 1,114名 | 1,227名 (↗) | 1,200名 |
| 健康づくりの取組をしている人の割合 | 56.40% | 59.00% (↗) | 58.00% |

ウォーキングイベントの参加人数については、広報、ホームページに加え、SNSでの周知等の実施により、計画策定時の実績より大きく上回る結果となった。健康づくりの取組をしている人の割合については、計画策定時の実績を上回っており、事業の効果が出ているものと考えられる。引き続き継続的な周知活動の実施を行う。